



鱒コミ

CS通信（テスト配信2）

新型コロナウイルス感染症に関する国の緊急事態宣言の延長に伴い、青森県でもその対策を緩めることなく今後の方向性が確認されたところですが、学校現場では感染が蔓延している状況ではないことや、児童生徒や教職員に感染者がいないことなどから、感染防止策をとった上で、県立学校を中心に5/7から学校生活が再開されました。当町でも、地域の状況等を勘案し町内の小中学校を再開した次第ですが、子どもたちは、友達や先生方との久しぶりの再会を心から喜んだことと思います。保護者の皆さんも、取り敢えずホッとされたのではないのでしょうか。

元のペースを取り戻すまでには、まだ時間がかかるとは思いますが、感染拡大防止に向け、気を緩めることなく、うがい、手洗い、咳エチケットの継続と3密の回復を意識しながら日々の生活を送りたいものです。

さて、「地域とともにある学校」というコンセプトのもと導入されたコミュニティ・スクールですが、以前からその先駆けと成り得る取組みとして、「地域の見守り、声かけ運動」があります。青少年健全育成の一環として行われてきたものですが、町内会や社会福祉協議会などの協力を得て、学校、家庭、地域が連携した取組みとして年々定着してきました。現在は下校時ですが、コミュニティ・スクールの本格的なスタートとともに、登校時も併せての活動ができればと思っています。



（西海小見守り隊）



（舞戸小見守り隊）



（西海小見守り隊）



（舞戸小見守り隊）

通学路での見守りや声かけは子どもたちにとっても親にとっても安心感が得られます。そして、見守り隊の方々への親近感も生まれます。こういうところから少しずつコミュニケーションの輪が広がっていきます。



（鱒ヶ沢中学校登校風景）

一方、中学生は、その殆どがバス通学ですがバス降車後はきちんと挨拶を交わし生徒玄関から校舎へと入っていきます。心が通い合う挨拶、目と目で通じ合う挨拶、笑顔で清々しい挨拶、ハイタッチでの挨拶、先輩や後輩への挨拶、先生方への挨拶、地域の方への挨拶、など、「おはよう」「おはようございます」で学校の1日が始まります。朝からとても気持ちがいい光景に心も爽やかになります。学校ではもちろんですが、地域の中でも近所同士、町民同士、笑顔で挨拶を交わすことができれば素敵ですね。

学校→家庭→地域→町全体へと挨拶の輪が広がって「笑顔であふれる あいさつの町 あじがさわ」を目指したいものです。

（記 鱒ヶ沢町教育委員会社会教育推進D.C 木村洋志）